

令和3年度農林水産祭内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要
水産部門

赤貝に全集中！— 目指せ！赤貝産地日本一の山口県 —

○氏名又は名称 山口県漁業協同組合浮島支店（代表 平野 和生）

○所在地 山口県大島郡周防大島町

○出品財 技術・ほ場（資源管理・資源増殖）

○受賞理由

・地域の概要

周防大島町は、山口県東部に位置し、屋代島のほか浮島など30の島から構成されている。瀬戸内海に面した本地域は漁業が重要な産業となっている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

山口県漁業協同組合浮島支店は、令和2年現在、組合員67名が所属し、イワシ網漁業、刺し網漁業、小型底びき網漁業などに携わっている。

・受賞者の特色

（1）ナマコの不漁を契機とした他魚種への転換

小型底びき網漁業の重要魚種であったナマコの不漁により経営環境が悪化した事態を打開するため、代替魚種として赤貝の種苗放流に取り組むこととし、試行錯誤を繰り返し、取り組みを重ねた結果、年間の生産量及び生産金額が向上した。

また、赤貝の生産が順調に推移していることなどにより、漁業後継者の確保に繋がり、組合員の若返りが図られている。

（2）食害対策の徹底と単価向上に向けた努力

赤貝の放流時期や放流方法の改良、捕食する生物の駆除や海洋プラスチックゴミの回収などを行うことにより、食害対策の徹底や生育環境の確保を図るとともに、品質と規格の徹底管理や漁獲後の選別・検査を丁寧に行うことにより、資源管理の徹底や付加価値向上が図られている。

・普及性と今後の発展方向

地域に根差した小型底びき網漁業の改良が地域の維持に貢献することを見出し、資源管理に対する意識改革や後継者確保に繋げた本取り組みは、モデルケースとして他地域にも多くの示唆を与えるものになりうると評価できる。